



レジェプレミアム・デニム

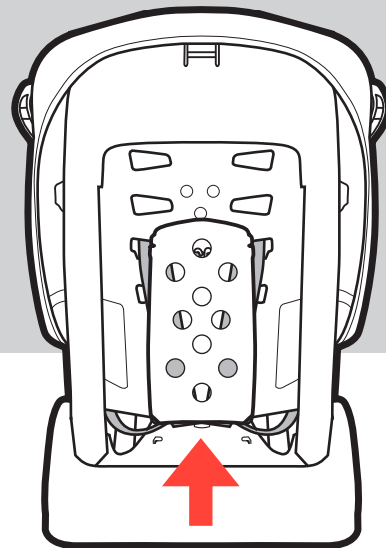
Leger Premium Denim

B-240 取扱説明書

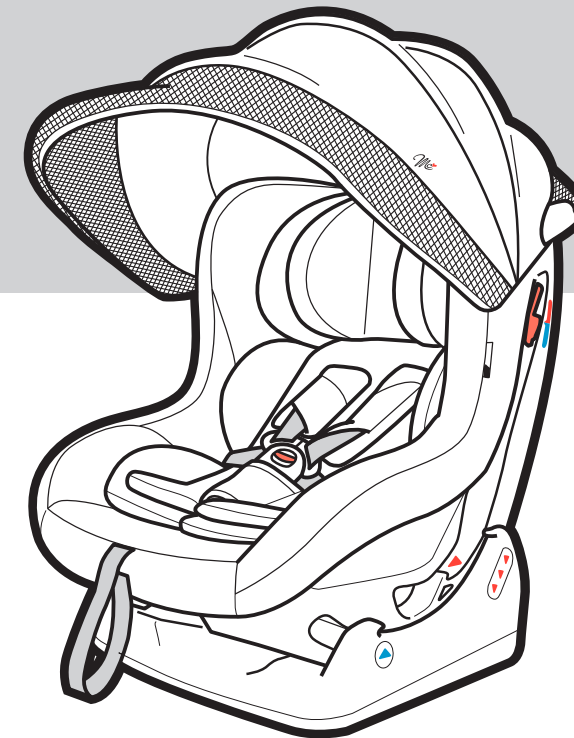


レジェプレミアム・デニム

Leger Premium Denim



この取扱説明書は、ここに保管してください



販売元

株式会社 **西松屋チェーン**

〒671-0218 兵庫県姫路市飾東町庄266-1

製造輸入元・お客様相談窓口

株式会社 **シーエー産商**
0120-034-017

受付時間 AM10:00~12:00・PM1:00~PM5:00 (月曜日~金曜日 ※弊社休日を除く)
〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51

MADE IN CHINA 2019-10

ご使用前に必ずこの『取扱説明書』を読んでいただき十分ご理解された上で記載の内容に従って正しくご使用ください。

※本書に使用しているイラストは、取り扱い方や使い方をわかりやすくするため実際とは多少異なる場合があります。

保証書付

※保証書は中面にあります。

座席が傷むおそれがあるため、**本革シート**の車両はそのまま取り付けないでください。

取り付ける場合は、保護シート等を敷いてからお取り付けください。(別売)

ご使用になる前に、安全のため必ずお読みください。

- 本装置は、「汎用」年少者用補助乗車装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、安全規格 (UN ECE R44/04) で試験を受け認可されており、一部を除きほとんどの車両に適合します。
- 車両製造者の車両ハンドブックに当該車両が、この年齢層向けの「汎用」年少者用補助乗車装置を搭載できると明記されていれば、本装置が正しく取り付けられます。
- 本装置は、3点式巻き取り装置付・巻き取り機能のないシートベルトを装備している座席にご使用できます。(2点式シートベルトの座席には使用できません。)
- ご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様相談窓口」まで、お問い合わせください。

目次

●ご使用になる前に、安全のため必ずお読みください。……1	本書を読んでいただくためのポイントマークについて……2
●シートベルトの種類と使用上の注意……3	本装置をご使用いただけるお子様の目安……2
取り付けできる3点式シートベルト	
取り付けできないシートベルト	
取り付けできない座席……4	
●使用上の警告・注意……5	
●各部の名称……7	
インナークッションのご使用について	
●各部の使い方……9	
バックル・タングの使い方	
リクライニングの調節	
肩ベルトの調節	
●ベビーシート(後ろ向き)としての使い方……11	
取り付け方	
●チャイルドシート(前向き)としての使い方……14	
取り付け方	
●お子様の乗せ方・降ろし方……17	
●お手入れのしかた……19	
●保証書……22	

本書を読んでいただくためのポイントマークについて

下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき本装置をご使用ください。

警告

事故につながったり、生命の危険、重大な傷害のおそれがある事を記載しています。

注意

安全のため、ご注意ください。いただきたい事を記載しています。

補足

より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたい事を記載しています。



図に表示している行為の禁止を示しています。

本装置をご使用いただけるお子様の目安

本装置は、お子様の年齢や体重により取り付け方が異なりますので、ご使用前にお子様にあった取り付け方法を確認し、ご使用ください。

ベビーシート

〈グループ0+〉

チャイルドシート

〈グループ1〉

車両のシートベルトで本装置を固定、本装置のベルトでお子様を拘束します。

〈適応体重〉

〈適応体重〉

2.5kg以上 13kg未満

〈身長の目安/60~80cm未満〉

9kg以上 18kg以下

〈身長の目安/75~100cm以下〉

- 年齢の目安：新生児～1歳頃

- 年齢の目安：1歳頃～4歳頃

車両の進行方向に対し
必ず 後ろ向きで
使用します。



車両の進行方向に対し
必ず 前向きで
使用します。



お子様の体重が9kgを超えるまでは前向きでの使用はお控えください。また、決して横向きや後ろ向きの座席には取り付けないでください。座らせた際に、頭頂部がヘッドレストから出るお子様はご使用いただけません。

補足

年齢・身長の目安は、あくまでも「目安」です。体重条件を満たしていないお子様はご使用いただけません。

シートベルトの種類と使用上の注意

●取り付けできる3点式シートベルト

ELR式シートベルト<緊急ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト>

ゆっくり引き出すと自由に入ります。急に引き出したり急ブレーキ等のショックが加わるとロックするシートベルト。

AELR式シートベルト<チャイルドシート固定機能付シートベルト>

すべて引き出した後で巻き戻すと、チャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなるシートベルト。(シートベルトをすべて巻き戻すと解除される)

NLR式シートベルト<非ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト>

ロック機能がなく、すべて引き出して長さを調整するシートベルト。

ALR式シートベルト<自動ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト>

引き出す途中で止めると、ベルトが自動ロックされ引き出せなくなるシートベルト。

マニュアル式シートベルト

巻き取り機能のない3点式シートベルト。

●取り付けできないシートベルト

腰ベルトに付いたELR式シートベルト

腰ベルト側にELRが付いているシートベルト。

2点式シートベルト

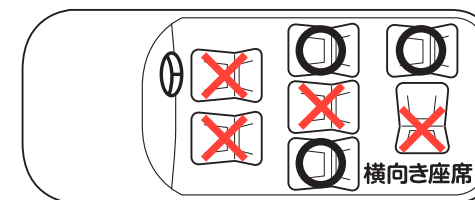
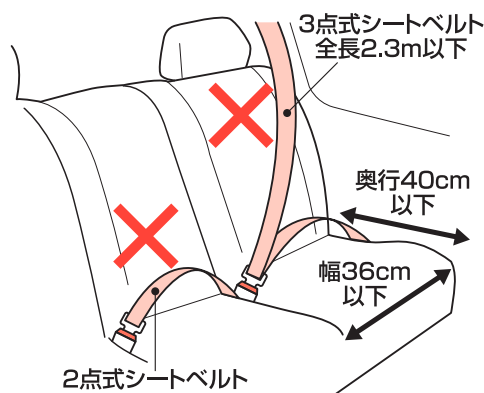
肩ベルトがない腰ベルトのみのシートベルト。

パッシブシートベルト

前部座席に座りドアの開閉により、自動的に装着・解除されるタイプのシートベルト。

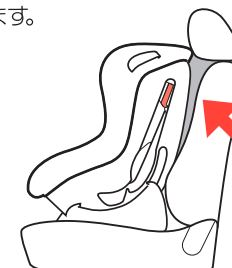
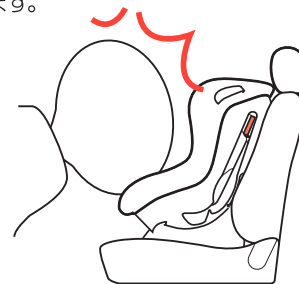
取り付けできない座席

- シートベルトが付いていない座席。
- 2点式シートベルトの座席。



○取り付け可能 ×取り付け不可

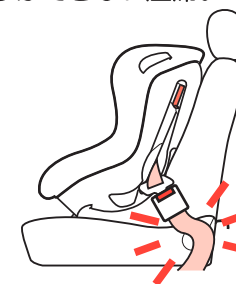
- 座面の幅が36cm以下、座面の奥行が40cm以下、シートベルトの全長が2.3m以下の座席。
- エアバッグが装備されている座席。
※サイドエアバッグのみの場合は、ご使用いただけます。



- 緊急時に同乗者が脱出する際、さまたげになる座席。
- 極端なバケットシート
座面・背面が極端に凹んだ座席、座面の凹凸が大きく取り付けに不安定な座席。
- チャイルドシートを取り付けた際に、運転に支障をきたす座席。

- 助手席には決して取り付けないください。
- 進行方向に対し、横向きや後ろ向きの座席。
- 座席と本装置との間に大きな隙間ができる座席、または車両のヘッドレストによって固定が不安定になる座席。
※車両座席のヘッドレストを上下に調節したり外すことで取り付け可能になる場合があります。

- 受け側のバックルベルトが長い場合、車両のバックルやタンクが本装置とあたって、シートベルトが緩みしっかり締め付けができない座席。

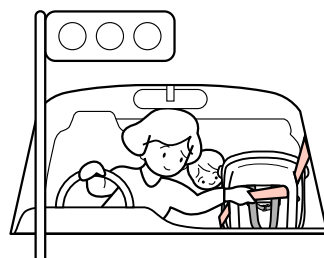
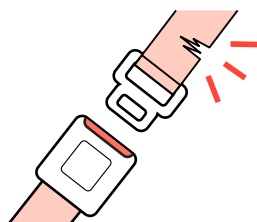


使用上の警告・注意

記載内容を守らないと、生命の危機、または重大な傷害につながるおそれがあります。

警告

- ①本装置は『取扱説明書』通りに取り付けてください。
- ②車両のシートベルトや座席の種類・形状により、『取扱説明書』通りに取り付けできない場合は、使用しないでください。
- ③本装置のベルトが緩んだ状態で使用しないでください。ベルトに緩みがあると首に巻き付いて窒息するおそれがありますので、必ず正しい長さでご使用ください。
- ④お子様がバックルボタンを押してベルトを外したり、ベルトから抜け出ないように時々ロック部分の確認をしてください。
- ⑤車両のシートベルトや本装置のベルトを傷つけないように注意してください。傷ついた場合、衝撃時に十分な効果が得られない場合がありますので、使用しないでください。
- ⑥衝突等により本装置が強い衝撃を受けた場合、破損の可能性がありますので使用しないでください。
- ⑦拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバー・クッション・ベルト類・付属金具等を外して使用しないでください。(インナークッションを除く)
- ⑧お子様を本装置に乗せてセットする際は、骨盤が腰ベルトで拘束されるように低い位置で着用し、肩ベルトもお子様に合わせて、適切な位置で拘束されるようにしてください。
- ⑨走行中にお子様の乗せ降ろし(乗り降り)や、本装置の調節等は絶対にしないでください。
- ⑩本装置を取り付けた後に、車両の座席の移動や調節をしないでください。固定が緩む可能性があります。
- ⑪本装置の部品やベルト等を鋭利なもので傷つけないでください。切れたり欠けたりしていると、機能が正常に働かない場合があります。
- ⑫お子様を乗せたまま車両から離れないようにしてください。不慮の事故につながるおそれがあります。

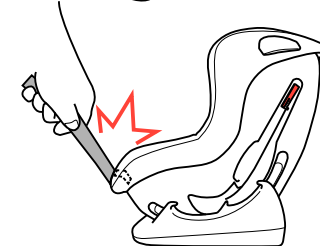
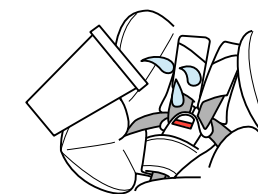
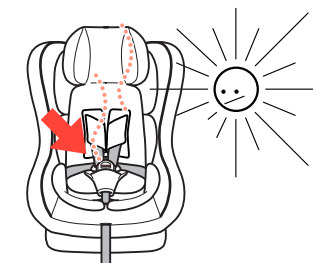


- ⑬本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などで機能を損ねる原因になるおそれがあります。
- ⑭お子様の負担を考え1時間以上連続して使用しないでください。

記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。

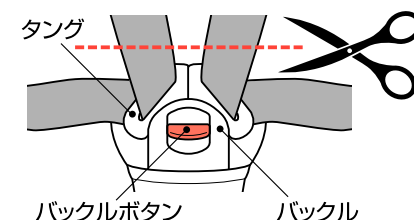
注意

- ①本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。
- ②本装置に日光が当たりますと、熱くなってお子様がやけどをするおそれがありますので、大人が金属部分・樹脂・レザー部分に触れて、熱くないかを確認してからご使用ください。
- ③お子様が転倒する危険がありますので、本装置の上で立ち上がったり、中腰にさせないようにしてください。
- ④本装置のバックルや可動部分に、水やジュース等をかけないでください。部品の故障につながります。
- ⑤車両内に傷害を与える可能性のあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様や同乗者がケガをするおそれがあり危険です。
- ⑥本装置にお子様を乗せない時でも、安全のため必ず車両のシートベルトで固定してください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が移動してケガをするおそれがあります。
- ⑦本装置が車両の座席やドアに挟まれたりしないように注意してください。
- ⑧肩ベルト調節ストラップを上を引っぱると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

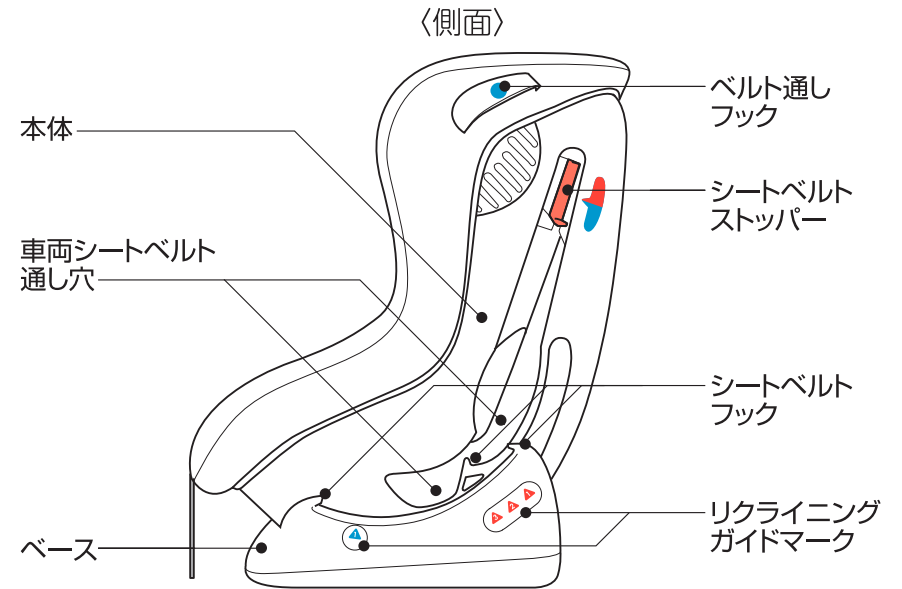
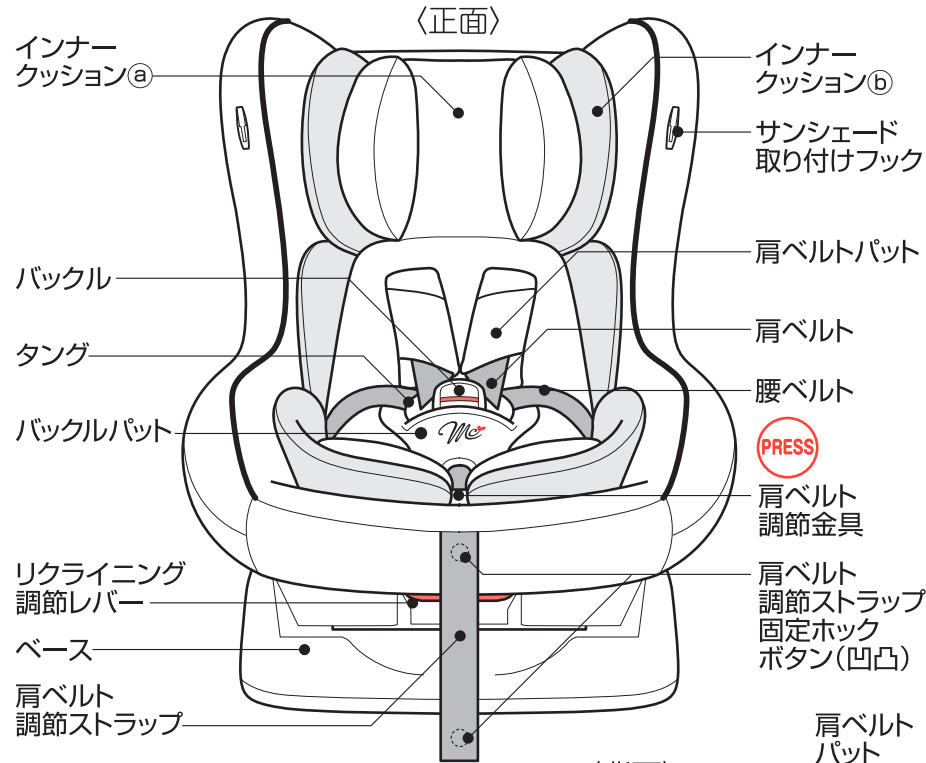


〈緊急時のご対応について〉

緊急時は慌てず速やかにお子様を救出してください。バックルボタン(赤いボタン)を下に押しても、タングがバックルから解除できない場合は、本装置のベルトをはさみ等で切ってお子様を降ろしてください。



各部の名称



インナークッションのご使用について

インナークッション①は、リバーシブルタイプになっています。

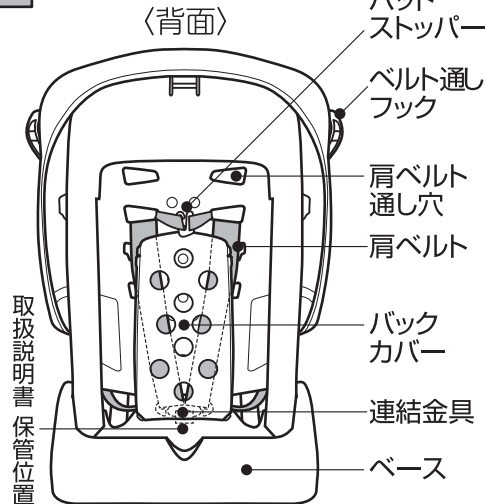
表:ニット生地(柔らかい肌触りです)

裏:メッシュ生地(通気性に優れています)

●7kg未満のお子様は、インナークッション①②をご使用ください。

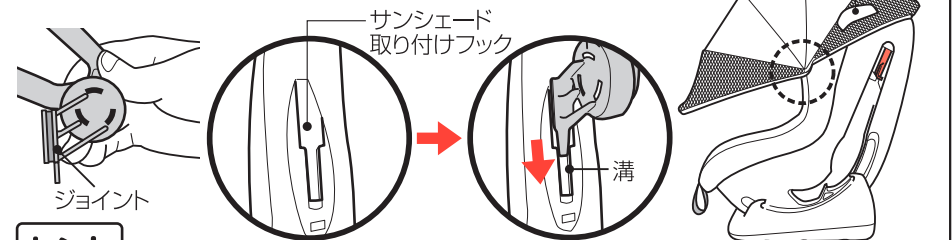
●取り外してよい条件は、7kg以上(6ヶ月頃)で腰と首がすわっていること。

●肩ベルトがきつい場合は、三角パット(インナークッション②の裏側)を外してください。



〈サンシェードの使用の目安〉本装置からお子様の頭が出る場合は、ご使用いただけません。
サンシェードを使用する場合、本装置を後ろ向きでご使用される場合は車両に設置する前に取り付けをしてください。

サンシェードに付いている穴(右図)をベルト通しフックに掛け、サンシェードを開いてください。
 サンシェードのジョイントとサンシェード取り付けフックの溝を合わせ、ジョイントをまっすぐ下側に差し込んで固定します。*差し込む際、誤った取り付けをするとシェードが外れやすくなります。



ヒント サンシェードを取り付けるときは、サンシェードを開いた状態で作業をすると楽に取り付けできます。

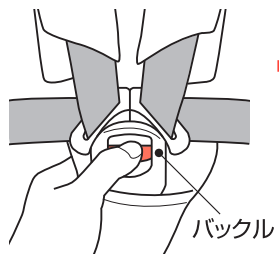
注意 走行時は、窓を開けての使用はしないでください。サンシェードが動くなどして、お子様がケガをするおそれがあります。

各部の使い方

バックル・タングの使い方

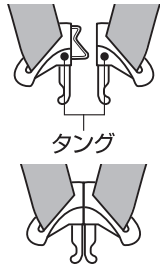
1

バックルパットを引き下げ、バックルボタン（赤いボタン）を押して、タングをバックルから解除します。
お子様が座れるようにタングを左右に開き、バックルを前に倒します。



2

お子様を座らせ、左右の肩に肩ベルトを掛け、タングを合わせます。
タングをバックルに、「カチッ」と音がするまで確実に差し込み、バックルパットを引き上げます。



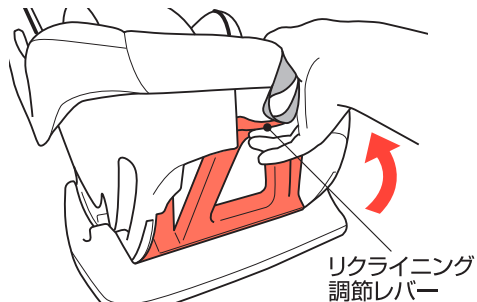
警告 バックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたことを確認してください。

注意 タングの接合部に強い力を加えないでください。破損するおそれがあります。

補足

バックル内に飲み物や食べかす等が入ると、バックルの機能を損なうおそれがありますので、水分・ゴミは取り除いてください。

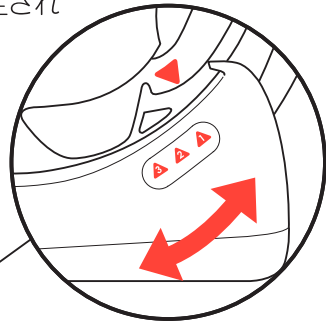
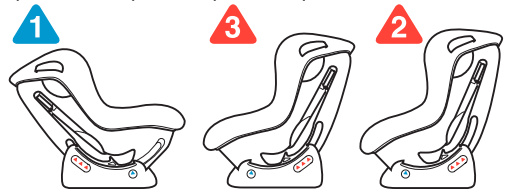
リクライニングの調節



リクライニング調節レバーを持ち上げながら本体をスライドさせ、リクライニングガイドマーク▲（前向き3段階・後ろ向き1段階）を適正な位置に合わせてください。
リクライニング調節レバーを離すと、本体が固定されます。

〈後ろ向き〉

〈前向き〉



肩ベルトの調節

1

肩ベルトを緩める場合は、肩ベルト調節金具を押しながら、肩ベルトパットの下の肩ベルトを手前に引くと緩みます。
肩ベルトを締める場合は、肩ベルト調節ストラップを引くと締まります。

●肩ベルトを緩める場合



●肩ベルトを締める場合



注意 左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。

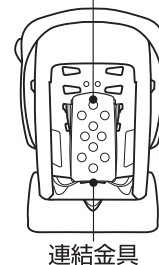
注意 肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

2

肩ベルトの高さを調節する場合は、本装置背面にあるバックカバーを外し、肩ベルトパットストッパーを取り外します。
肩ベルトを緩め、連結金具から、肩ベルトを取り外し、適正な位置の肩ベルト通し穴に通してください。



バックカバー



●後ろ向き使用時の場合

お子様の肩よりやや低い位置になるようにしてください。

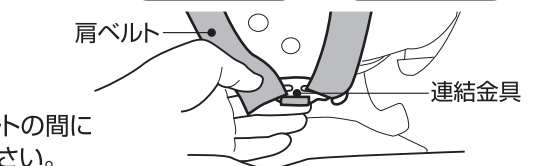
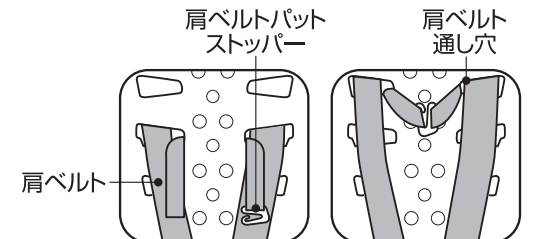
●前向き使用時の場合

お子様の肩の高さと同じかやや高い位置になるようにしてください。

3

肩ベルトの高さの調節ができましたら、肩ベルトパットストッパーと肩ベルトを、肩ベルト通し穴に通し固定します。（右図）肩ベルト調節ストラップを手前に引っ張り、肩ベルトを締め、お子様をしっかりと拘束します。

※肩ベルト調節ストラップの端は、肩ベルト調節ストラップ固定ホックボタンで留めることができます。



補足

調節の目安は、お子様の肩とベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

ベビーシート(後ろ向き)としての使い方

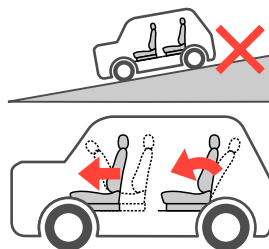
〈グループ0+〉…適用体重 **2.5kg以上13kg未満**

取り付け方 (後席左側での取り付け例)

●取り付け作業スペースの確保

後部ドアが全開可能で、平坦な場所で取り付けをしてください。前の座席を前に倒したり、前にスライドさせて、作業スペースを確保してください。

座席がリクライニングで倒れている場合は、標準の位置または車両の取扱説明書で指示されている位置に戻してください。

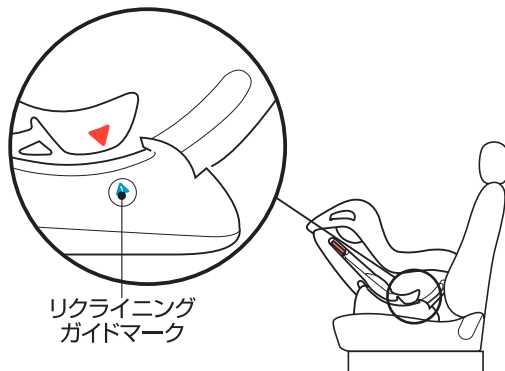


1

リクライニングガイドマーク▲(青1)に合わせてください。

車両の進行方向に対し、後ろ向きに本装置を置き、車両の背もたれと隙間がなく接していることを確認してください。

また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。



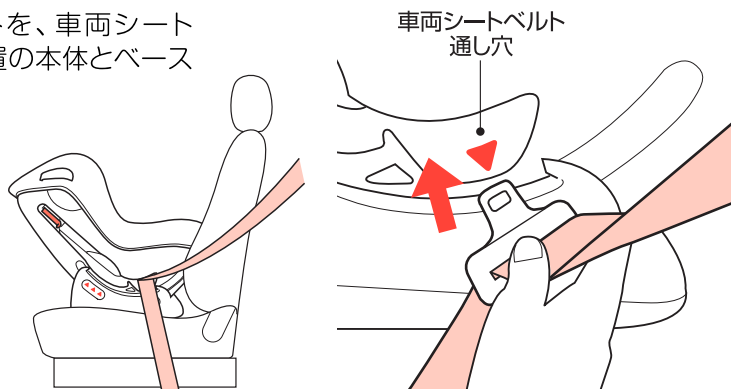
警告 エアバッグ装着の助手席には取り付けられません。



注意 本装置と車両の背もたれ・座席との間に隙間ができないようにしてください。

2

車両のシートベルトを、車両シートベルト通し穴(本装置の本体とベースとの間)に通します。

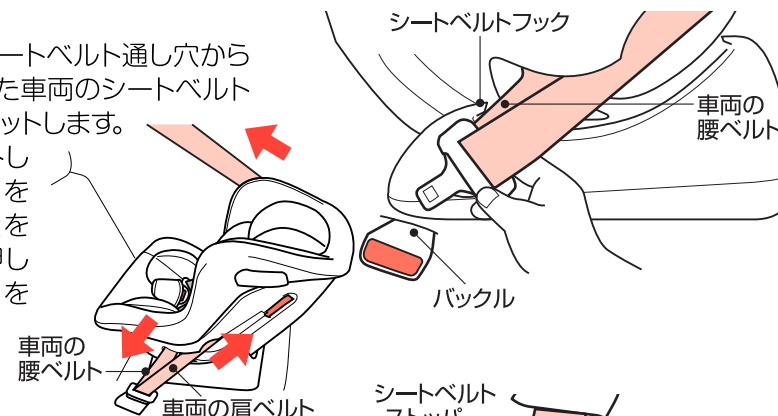


〈身長を目安/60~80cm未満〉

3

反対側の車両シートベルト通し穴から手前に引き出した車両のシートベルトを、バックルにセットします。

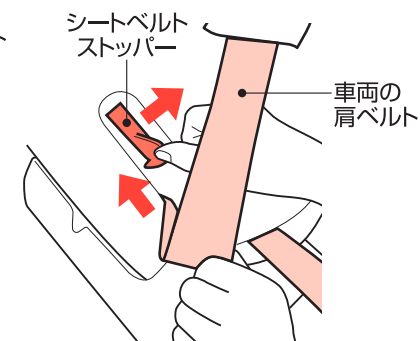
バックルにセットした後、肩ベルトを引っ張り本装置を車両の座席に押し付け、腰ベルトを締め付けます。



4

右図のように、シートベルトストッパーを矢印の方向に押し上げ、車両の肩ベルトを下から上に通してはさみ込みます。

※車両の肩ベルトを通すときは、バックカバーの上から通してください。

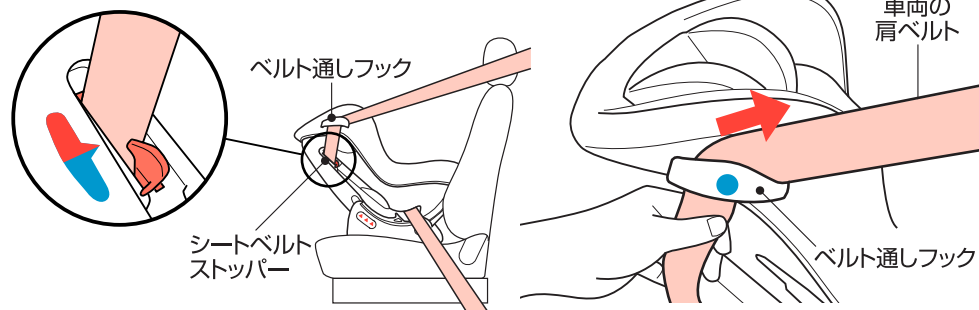


5

本装置のベルト通しフックに車両の肩ベルトを通してください。シートベルトストッパーのツメの上に、車両の肩ベルトがのっていることを確認してください。

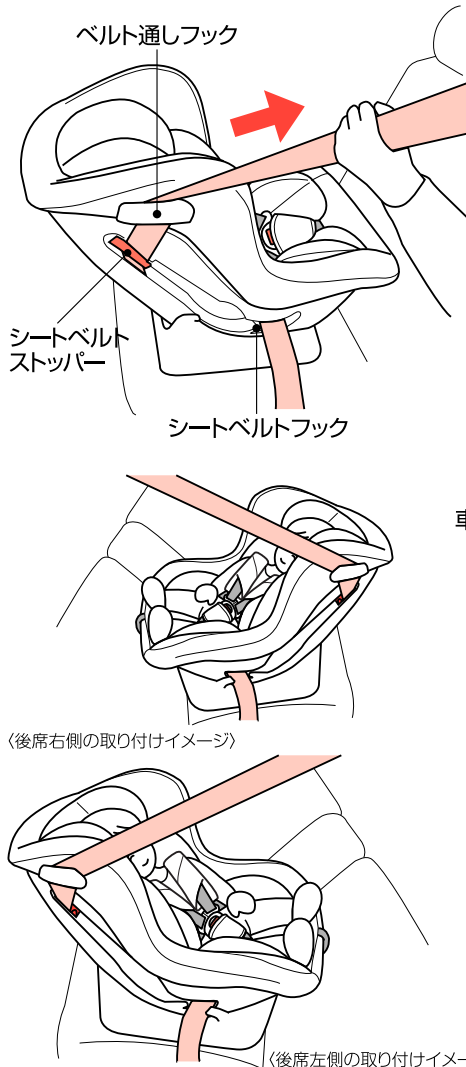
補足

背もたれや座席の調整ができる車両では、車両のシートベルトがバックルに届かない場合、車両の背もたれや座席を調整して、再度取り付けてください。



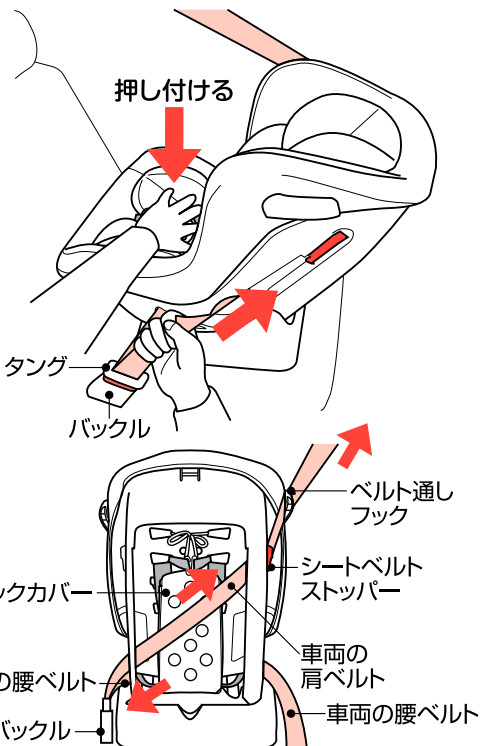
6

本装置の座面の上から体重をかけ、車両の座席に押し付けて車両のシートベルトを締め付けます。



〈後席右側の取り付けイメージ〉

〈後席左側の取り付けイメージ〉



セット後の確認

- 車両のシートベルトのタングとバックルが確実にセットされていること。
- 車両のシートベルトに、ねじれやたるみがないこと。
- 車両のシートベルトが、シートベルトフック・ベルト通しフック・シートベルトストッパーに確実にかかっていること。
- 本装置を前後に揺すって、ぐらつきがなく安定していることを確認すること。



上記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。本装置の機能が十分に発揮せず危険です。

チャイルドシート(前向き)としての使い方

〈グループI〉……………適用体重 **9kg以上18kg以下**

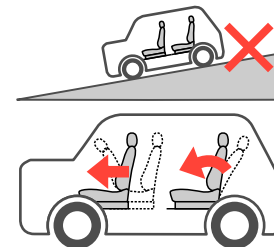
取り付け方(後席左側での取り付け例)

〈身長の目安/60~80cm未満〉

●取り付け作業スペースの確保

後部ドアが全開可能で、平坦な場所で取り付けをしてください。前の座席を前に倒したり、前にスライドさせて、作業スペースを確保してください。

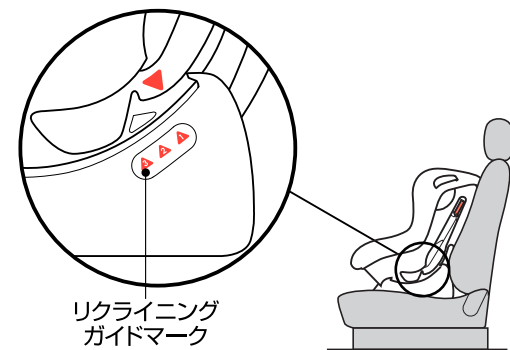
座席がリクライニングで倒れている場合は、標準の位置または車両の取扱説明書で指示されている位置に戻してください。



1

リクライニングガイドマーク▲(赤1~3)に合わせてください。

車両の進行方向に対し、前向きに本装置を置き、車両の背もたれと隙間がなく接していることを確認してください。また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。



エアバッグ装着の助手席には取り付けられません。



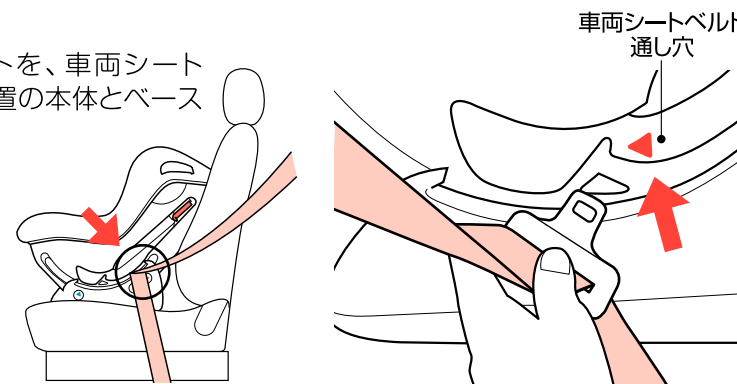
本装置と車両の背もたれ・座席との間に隙間ができないようにしてください。



ヘッドレストが干渉する場合は、上げるか取り外してください。

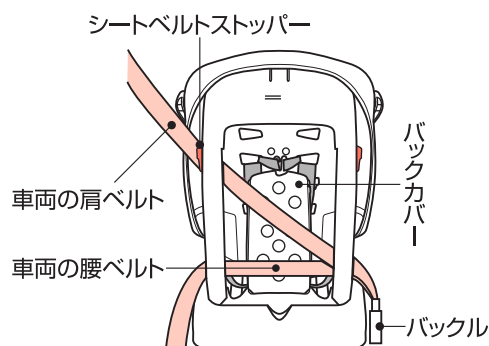
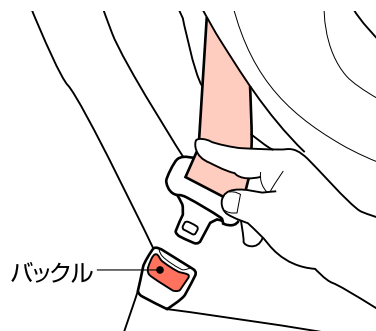
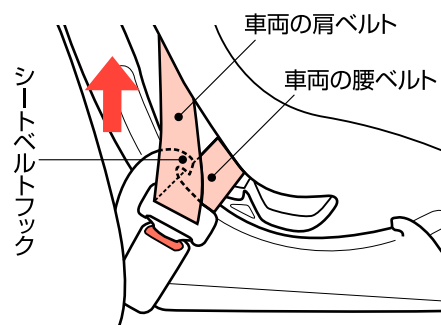
2

車両のシートベルトを、車両シートベルト通し穴(本装置の本体とベースとの間)に通します。



3

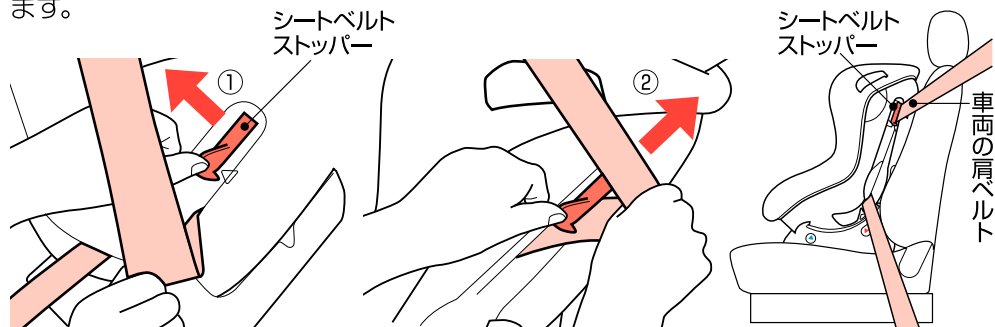
反対側の車両シートベルト通し穴から引き出した車両のシートベルトを、バックルにセットします。
バックルにセットした後、肩ベルトを引っ張り本装置を車両の座席に押し付け腰ベルトを締め付けます。



注意 車両の腰ベルトがシートベルトフックに掛かっていることを確認してください。

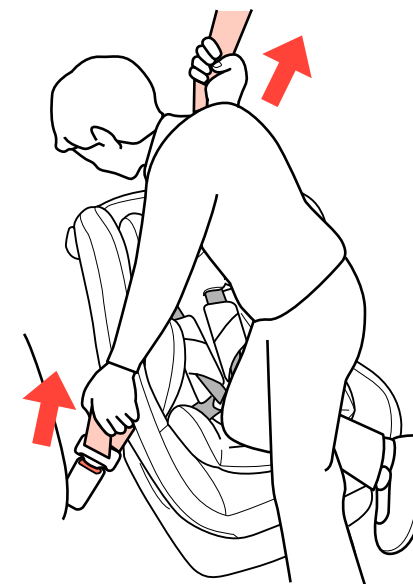
4

下図のように、シートベルトストッパーを矢印の方向に押し上げ、車両の肩ベルトを下から上に通してはさみ込みます。



5

本装置の座面の上から体重をかけ、車両の座席に押し付けて車両のシートベルトを締め付けます。



補足 車両のシートベルトがバックルに届かない場合、車両の背もたれや座席位置を調整して、再度取り付けてください。

セット後の確認

- 車両のシートベルトのタングとバックルが確実にセットされていること。
- 車両のシートベルトに、ねじれやたるみがないこと。
- 車両のシートベルトが、シートベルトフック・シートベルトストッパーに確実にかかっていること。
- 本装置を前後に揺すって、ぐらつきがなく安定していることを確認すること。

警告 上記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。本装置の機能が十分に発揮せず危険です。

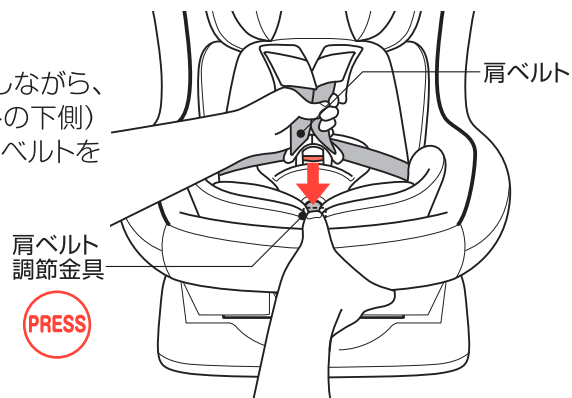
お子様の乗せ方・降ろし方

お子様の乗せ方

本書P2「本装置をご使用いただけるお子様の目安」を参照して取り付け向きを確認し、お子様に合わせて着座スペースを確保して取り付けてください。

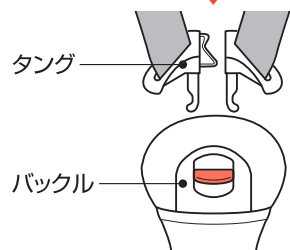
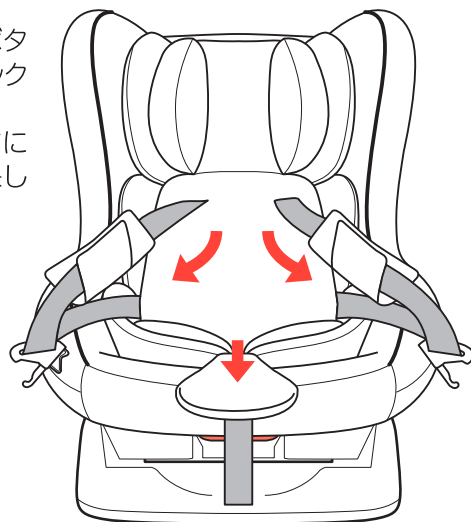
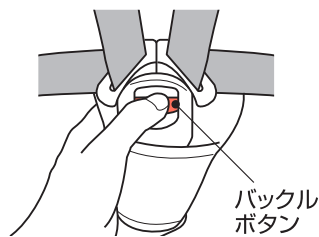
1

肩ベルト調節金具をしっかり押しながら、左右の肩ベルト（肩ベルトパットの下側）のみを持って手前に引っ張り、肩ベルトを緩めます。



2

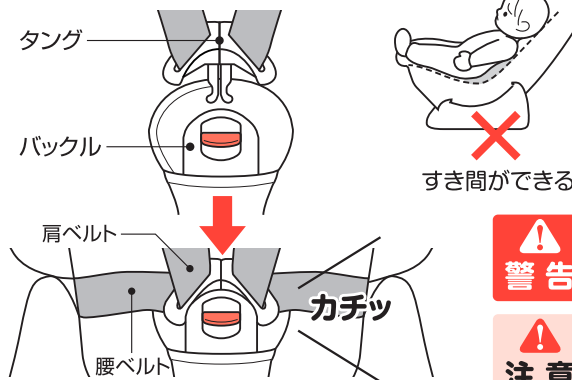
バックルパットを引き下げ、バックルボタン（赤いボタン）を押して、タングをバックルから解除します。肩ベルトを左右に開き、バックルを前に倒し、お子様が座れるスペースを確保します。



注意 左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。

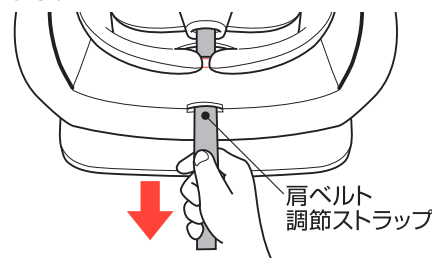
3

バックルが、お子様の股の間に収まるように深く座らせます。左右のタングを合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込みます。



4

腰ベルトに緩みのないことを確かめてから、肩ベルト調節ストラップを手前にゆっくり引っ張って肩ベルトを締め、お子様を拘束します。



警告

バックルが確実に固定されていることを、必ずご確認ください。

注意

肩ベルトにねじれができないように、また指をはさまないように十分注意してください。タングの接合部に強い力を加えると破損するおそれがあります。

補足

バックル内に飲み物や食べかす等が入ると、バックルの機能を損なうおそれがありますので、水分・ゴミは取り除いてください。

注意

肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

補足

調節の目安は、お子様の肩とベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

お子様の降ろし方

肩ベルト調節金具を押して肩ベルトを緩めます。バックルボタンを押してロックを解除し、肩ベルトを左右に開きます。お子様の腕を肩ベルトに引っかからないように注意しながら、ゆっくりとお子様を降ろしてください。

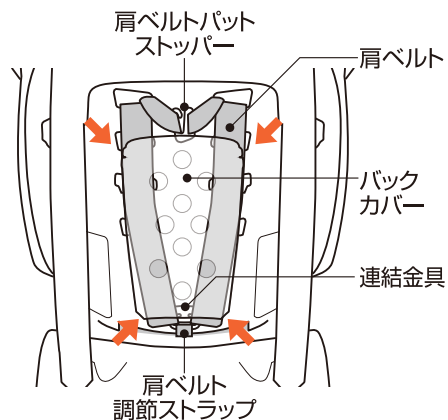
お手入れのしかた

取り外し方

■バックカバー・肩ベルトパット・インナークッションを取り外す

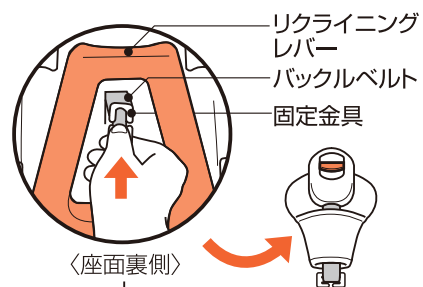
本体背面に4ヶ所のツメで固定されているバックカバーを取り外します。肩ベルトを緩め、連結金具から肩ベルトを外します。

肩ベルトパットストッパーを外し、肩ベルトと一緒に本体表側に引き出して、インナークッション・肩ベルトパット・タングを取り外します。



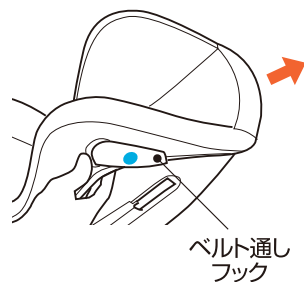
■バックルを取り外す

リクライニングを「青1」の位置にします (P7参照)。リクライニングレバーの奥にある固定金具・バックルベルトを座面表側に押し出して、バックルを取り外します。

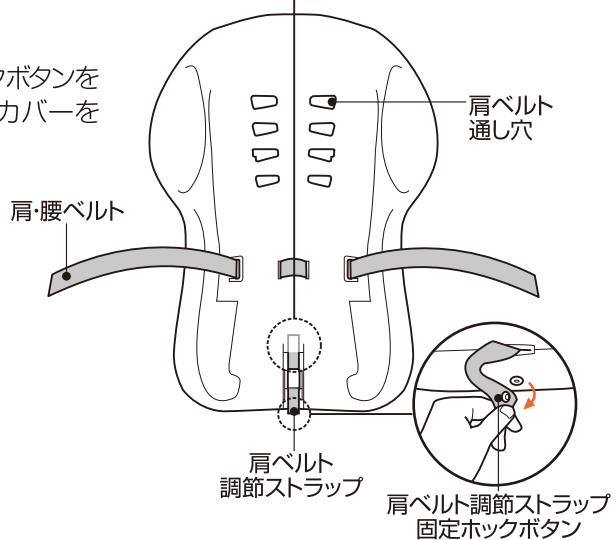


■本体カバーを取り外す

肩ベルト調節ストラップ固定ホックボタンを外し、ベルト通しフックから本体カバーを引き抜き、取り外します。



ベルト通しフック



取り付け方

■本体カバーを取り付ける

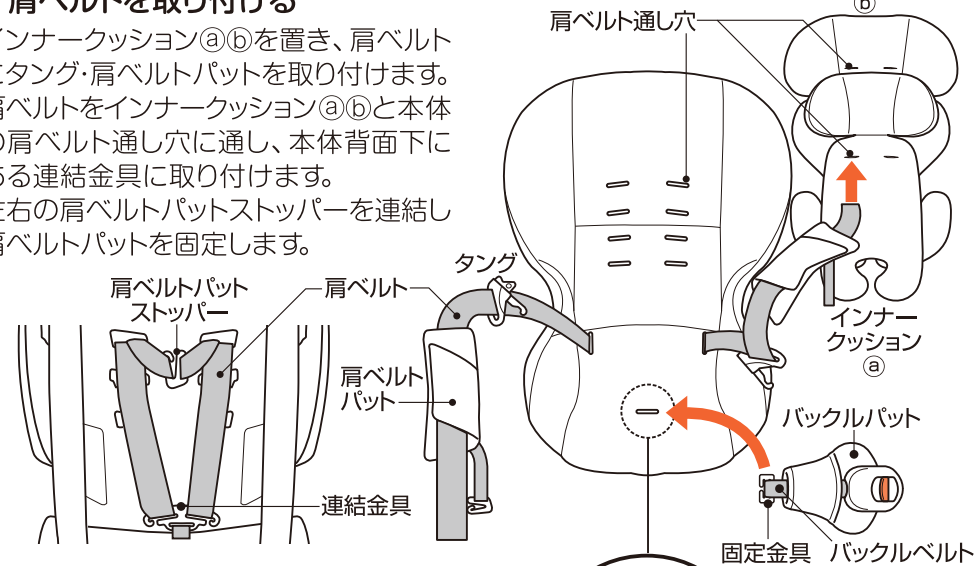
本体カバーをベルト通しフックに通してから取り付けます。



ベルト通しフック
インナークッション

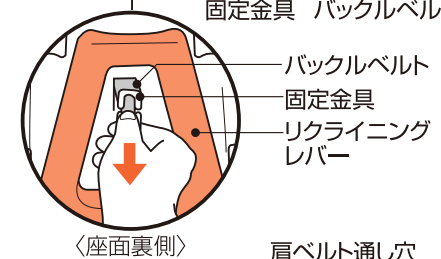
■インナークッション・肩ベルトパット・肩ベルトを取り付ける

インナークッション②⑥を置き、肩ベルトにタング・肩ベルトパットを取り付けます。肩ベルトをインナークッション②⑥と本体の肩ベルト通し穴に通し、本体背面下にある連結金具に取り付けます。左右の肩ベルトパットストッパーを連結し肩ベルトパットを固定します。



■バックルを取り付ける

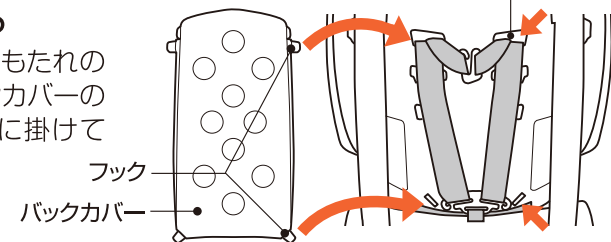
リクライニングを「青1」の位置にします (P7参照)。バックルにバックルパットを取り付け、バックルの固定金具・バックルベルトを、座面表側から座面裏側に押し込んで取り付けます。



肩ベルト通し穴

■バックカバーを取り付ける

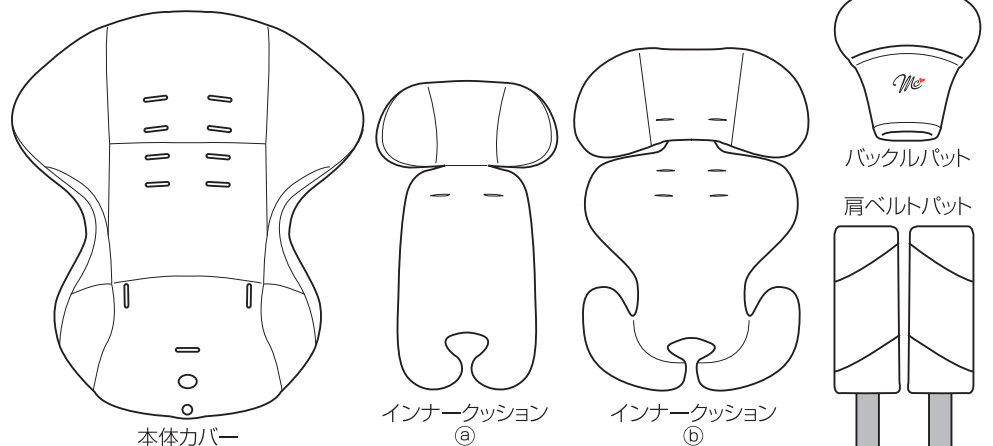
バックカバーのフック(下)を、背もたれの下側にある溝に差し込み、バックカバーのフック(上)を、肩ベルト通し穴に掛けて取り付けます。



各部のお手入れ

■カバー・パット・クッション

- 中性洗剤を使い、手洗いしてください。
- 塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用しないでください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- アイロンがけはしないでください。



■本体・サンシェード・バックカバー・ウレタン・ベルト・バックル・金具

- 乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。

